

県 JRC 交流イベント

横須賀米軍基地クリスマス交流会 参加活動報告書

活動日：2013年12月14日(土)

場 所：横須賀アメリカ海軍基地内

本校参加者：2年 山川好栄 1年 疋田梨桜 礒田航平 長谷川ふみ

参加校：海洋科学高校・湘南学院・三浦学苑

報告者：1年 礒田航平 長谷川ふみ

補筆 武田 校正 伊藤

◆ 活動参加の目的と意義

- ①. JRC の活動を通じて他校と交流を深めつつ JRC として共通意識を持つ
- ②. 地区 JRC の交流イベントを通じて年間の活動内容を把握する
- ③. JRC に加盟した以上、積極的に地区の活動に参加し自分たちの活動としていく
- ④. 赤十字活動を通じて国際交流の在り方を考え、実行力をつける



基地内 米軍艦船の中での記念写真

◆ 生徒会の活動内容

アメリカ海軍横須賀基地の中はまさにアメリカです。普段はゲートで仕切られ、一般の日本人が入ることはできません。この日は、特別に中に入ることが出来ました。日本赤十字とアメリカ赤十字との交流事業の一つだそうです。私たちはゲートで本人確認をした後、入場しました。私たち高校生グループは、基地内に停泊してい



るアメリカ艦船へ訪問するグループと、基地内にあるオフィスを中心にストリートを訪問するグループに分かれて行動しました。

どちらも、アメリカ人のガイドさんがついてくれましたので、行動に不自由はなかったです。ただし、基地内での行動に際しては青いアメリカ赤十字のボランティアジャケットと赤いサンタクロースの帽子的着用が義務付けられました。

艦船を訪問したグループは、停泊任務で残っていたアメリカ軍人さんに「**メリークリスマス!**」と呼びかけながら、クリスマスカードを渡す活動をしました。渡された人たちは、明るい声でお礼を返してくれました。艦内を案内され、食堂での集合写真を含め、あちこちで記念写真を撮ってくれました。軍人さんは身体の大きい人が多く恐そでしたが、気さくな人ばかりでした。

それに対して、ストリートを中心に歩き回った人たちは、そこにいる人たちに同じようにクリスマスカードを渡し、同じようにクリスマスの挨拶をしました。こちらは軍人さんよりも基地で働いている人や自衛官の方が多かったです。(クリスマスカードは基地内にある小学校の生徒さんたちが作った手作りのカードです)

オフィス内にも、入って行ってカードを渡しました。

昼食は2つのグループが合流し、基地の赤十字の方々と一緒に昼食を頂きました。食事中は、もちろん英会話です。私たちの英語で通じるところと、通じないところがあって、慌ててしまったところもありましたが、手振り身振りを交え、なんとかコミュニケーションを取れたかなと思います。

その後ストリートに出てもう一度、カード配りをして、解散しました。

◆感想 ・ 今後について

今回は基地在住の方や、任務のためにアメリカより派遣されている軍人さんにクリスマスカードを配ることが目的でした。基地内と基地外の私たちが交流することは限られていますが、カードを配ることでちょっとした英会話を交わす事が出来ました。また基地内は、お店も街並みも全部アメリカで「アメリカ人の生活はこんな感じなんだ」と知ることが出来ました。特に日本にはいない軍人さんが乗船している艦船への訪問は、すこし興奮しました。私たちにとっては、異文化交流というのでしょうか、普段当たり前目にする日本ではないアメリカを感じる事が出来ました。

学校ではネイティブの先生と、「コミュニケーション英語」を勉強していますが、ちょっとした気持ちを伝えるにしても、自分たちの英語力は足りないなあと感じました。うまく意思を伝えるためには、英語力は不可欠です。私たちは、こうしたボランティア活動を通して、もっともっと積極的に交流をしていきたいです。

記:磯田 航平



お店の中でカードを渡しました